

C級公認審判員制度 実施概要

2021年度より導入

2021年2月全国競技運営責任者会議資料

C級審判員制度とは？

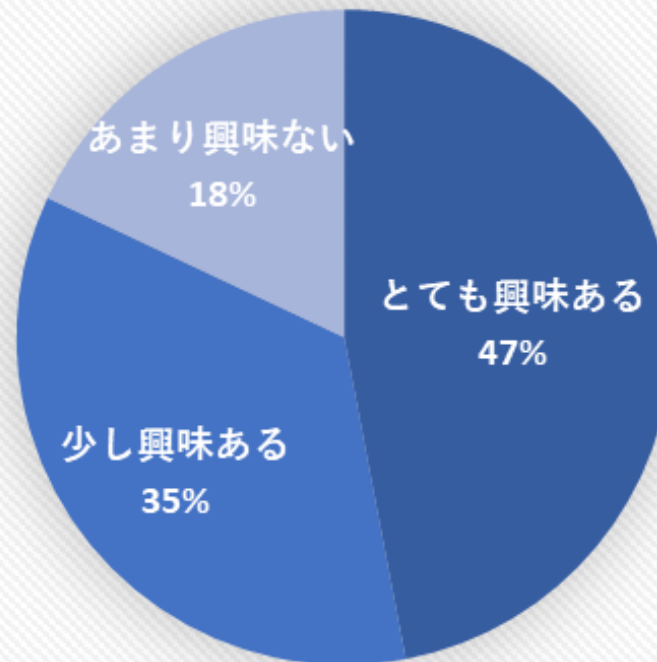
- 陸連へ登録したものは
16歳になる年度より取得可能
- 生涯にわたり活躍できる公認審判員の
入門編として位置付けられる
- 補助員とは一線を画すものとする
- 審判業務には一定の条件あり



2021年度より公認審判員規程へ追加

高校生の意識調査結果①

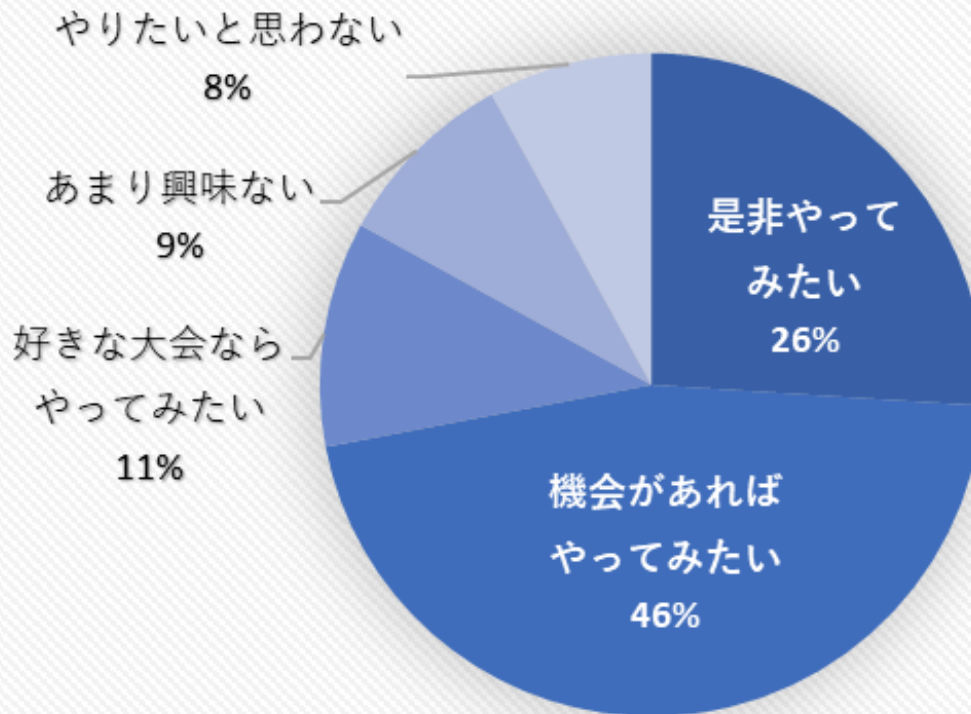
審判に興味ある？



- SNSを活用して高校生へアンケート実施、全国から1007件の回答 (2020.7.16-31)
- 回答者の83%はT&Fの補助員経験あり

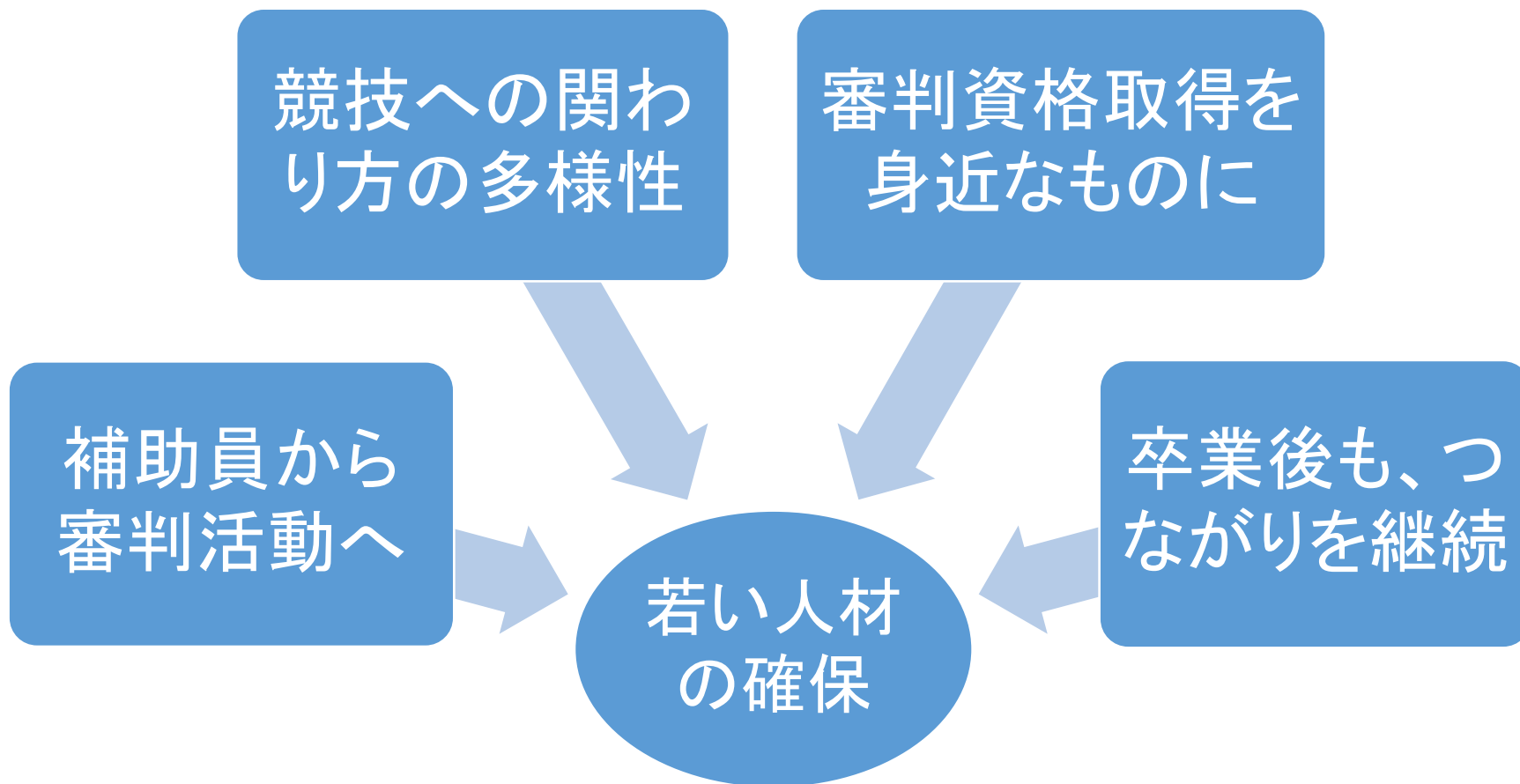
高校生の意識調査結果②

将来、審判をやってみたい？



➡ 83%の高校生が審判をやってみたい！

C級審判制度の目指すところは？



資格取得の流れ（時期・基準は加盟団体に一任）

(例)

夏

取得希望者は講習会を受講



夏～秋冬

実技研修として競技会へ参加



翌春

各加盟団体による資格付与

（陸連へ取得者数を報告）



審判手帳の交付

C級審判員章の購入



C級審判業務開始

講習会

- 加盟団体と各都道府県高体連は協力して取得希望者へ講習会を実施し、資格の認定は各加盟団体で行う
- 開催時期については一任する
- 初年度の講習会で使用するテキストは陸連にて作成し、次年度以降は各加盟団体においてルール修正等に合わせ更新していく

講習カリキュラム(テキスト内容)

- ①審判員に求められる資質
- ②様々な運営役員
- ③トラック競技について
- ④フィールド競技について
- ⑤混成競技について
- ⑥競歩競技について
- ⑦道路競技について

実技研修

- 競技会に実技研修生として参加し、現場で審判員の動きを学ぶ
- 各加盟団体の競技会事情に合わせて実施し、内容については一任する
- 競技活動との兼ね合いを考え、半日を一コマとする等の工夫が必要
- 審判業務現場の「将来の芽を育む」意識が重要

資格の付与

- 各加盟団体は、講習会受講および研修活動の状況から判断してC級審判員資格を付与する
- その基準と時期は各加盟団体へ一任する
- C級審判資格者数を日本陸連へ報告する
- B級以上と同様に審判員手帳を交付
- C級審判員としての育成のため、競技会への審判委嘱を積極的に各加盟団体は行う

公認審判員規程

【改正】

第2条 ...本連盟の登録会員でその年度内に16歳に達する者は、C級公認審判員となり得る資格を有する。ただし、C級を取得していなくても本連盟の登録会員でその年度内に18歳に達する者は、B級を取得することが可能である。

第4条 ...A級、B級、C級公認審判員は、加盟団体で審査し、本連盟がこれを委嘱する。

第7条 ...審判活動を行う際には、C級審判員のみで競技役員チームを編成してはならない。B級以上の審判員の監督のもと、主任の責任において審判活動を行う。また、計測および判定については、B級以上の審判員が必ず1名以上ついて指導を行いながら業務を担う。

審判業務内容

- C級審判員のみで競技役員チームを編成して審判することは認められない
- B級以上の審判員のもとで、主任の責任において審判活動を行う
- 計測および判定については、B級以上の審判員が必ず1名以上ついて指導を行いながら業務を行う環境を作ること

識別や服装について

- 審判活動時の服装は各加盟団体に一任
- 審判員章（C級）を着用

B級以上の審判員章と
同じデザインで色違い
の《黄緑色》



待遇等

- 日当交通費・食事等は陸協の判断に一任
- 審判員手帳に競技会の記録をする
記載内容はB級以上と同一とする
審判種別記入欄は新規発注分より新設予定、それまでは余白を利用
- 審判員として活動中の事故は、主催者側が競技者及び審判員に掛けている保険等で対応する
事前に周知伝達しておくこと

B級への昇格について

- その年度内に18歳に達する C 級審判員は B 級に昇格できる資格を有する
- 昇格希望者は、B 級新規取得者と同等の講習会を受講する
- 実技研修については、C 級審判員としての活動実績を考慮し免除することも可能とする

新制度を最大限に生かすには？

- 審判業務に興味のある高校生は多い
驚きのアンケート結果
- ただ待っているだけでは集まらない
C級審判員制度のPR・補助員への声掛け
- 審判員の芽を潰さず育てていく環境
審判員は厳しくて怖い!?
- 競技卒業後も陸上競技場へ
審判員になった先輩からプラスの連鎖へ…